

研究データ管理の観点から、 研究の信頼性を高めよう！

何となく自己流でデータの処理を行い後に適切な処理ではなかったと気づく、あるいは後日自身のデータが再現できずに困ってしまう。そのような経験をしたことはありませんか？

日々の研究活動で生み出される研究データをしっかり管理することは研究活動の基本であり、データの信頼性・研究の公正性を担保しています。データ管理の適切な実施が研究そのものの品質向上にもつながります。

本セミナーは、研究データに関する21世紀に入ってからの中長期的な流れと、この数年急速に議論されているオープンサイエンスと、両方の観点から研究データ管理の原則を再度見直すことを目的としています。研究活動を始めたばかりの方にも是非受講していただきたいイベントです。

会場・オンライン ハイブリッド開催

2025.
第1回 **10/30** (木)
TOKYO
13:30—17:00

大手町三井カンファレンス
(Room8)

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi One 三井物産ビル4F

2025.
第2回 **11/27** (木)
OSAKA
13:30—17:00

コンGRESSクエア
グラングリーン大阪
(パークホール2)

大阪市北区大深町5番54号 グラングリーン大阪 南館4階

対 象

- 研究データを取り扱う研究者
- 研究データの管理に関する教育等を行う方（教員、事務局等）
- 研究データのシステム基盤整備等を行う方（研究機関、民間企業）
- 研究公正活動に関心のある方（大学院生の方も可）

※年齢を問わず広く研究者等を対象としていますが、将来を担う若手研究者等の積極的な参加を期待します。

定 員

会場：各回 100名 オンライン：各回 300名

※先着順に受付、定員に達し次第、受付を終了します。

プログラム（各回共通）

講演① 「研究データの“信頼性”とは、そしてそれを“管理する”とは」

飯室 聡（国際医療福祉大学 教授）

講演② 「実験科学における研究の信頼性を考える」

田中 智之（京都薬科大学 教授）

講演③ 「オープンサイエンス時代のデータ管理教育—学生には何を求めるべきか—」

岡林 浩嗣（筑波大学 准教授）

講演④ 「研究データの公正性と信頼性を支える GakuNin RDM の戦略」

込山 悠介（国立情報学研究所 准教授）

意見交換会（現地参加者のみ）

お申し込み・お問い合わせ

▶ 右記サイトよりお申し込みください。

※先着順に受付、各回の定員に達した場合、参加登録を締め切ります。

https://www.amed.go.jp/news/event/20251030_workshop.html

第1回
10/30 (木)
東京



第2回
11/27 (木)
大阪



問い合わせ先(受注会社) 株式会社プロセスユニーク メールアドレス datakanri@p-unique.co.jp

主催



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

研究公正・業務推進部